

地盤工学会 関東支部 造成宅地の耐震対策に関する研究委員会（H23 年度活動）  
第 4 回議事録案（準備委員会含む第 8 回）

日時：平成 24 年 2 月 20 日（月）13：30～16：30

場所：公益社団法人地盤工学会地下会議室

出席者：安田委員長、太田先生、飯沢委員、内山委員、小川（和）委員、小林委員、金子委員、澤田委員、新坂委員、杉山委員、諏訪委員、高田委員、手塚委員、栃尾委員、西村委員、橋本（和）委員、橋本（隆）委員、松下委員、山本委員、大林

資料：8-1 議事次第、議事録

8-2 潮来市日出地区の液状化被害

8-3 澤田委員資料

8-4 浅層盤状改良による宅地の液状化対策の合理的な設計方法の研究

8-5 戸建て住宅の液状化対策 ハンドブック作成に向けて意見調整が必要と思われる事項

8-6 道路等の公共施設と既存建築物（民間宅地）の一体的な液状化防止・軽減対策

8-7 戸建て住宅の液状化対策 目次案

議事：

1. 委員長挨拶

- ・様々な動きの中で、本研究委員会としての活動方向性について今回は議論していきたい。

2. 話題提供

2-1 潮来市日出地区の液状化被害（橋本委員）資料 8-2

- ・潮来市の被害状況分析結果について報告
- ・建物傾斜角と沈下量の相関について説明

2-2 浦安市の液状化被害（澤田委員）資料 8-3

- ・浦安の被災事例からみた非液状化層厚さの影響とその知見に基づいた液状化被害予測例

2-3 住宅からの調査、性能（松下委員）

- ・住宅における調査の位置づけ。
- ・傾斜許容値の考え方。

2-4 浅層盤状改良による宅地の液状化対策の合理的な設計方法の研究について（大林幹事）資料 8-4

- ・国交省助成金による既設住宅の液状化対策に関する研究内容について

3. 戸建て住宅の液状化対策ハンドブック（案）作成について

3-1 ハンドブック作成に向けて意見調整が必要と思われる事項（安田委員長）資料 8-5

- ・対象者は自治体関係者とする。
- ・枠組みや仕組みなどを考える方々に汎用性のある対策方法などを提示する。
- ・新設、既設、復旧など全てに関して考える
- ・具体的な事例を考え、どこかの地域をモデル化して表現する。
- ・首都圏直下型が言われているので、想定地震動はそれに見合ったものが必要。
- ・緊急性が高いので、なるべく早く完成させる。

3-2 目次案について 資料 8-7

- ・内容・担当などについて関係者（執筆リーダー）で詰めていく。
- ・執筆リーダー候補：松下委員、橋本委員、西村委員、澤田委員、高田委員、新坂委員、手塚委員

4. 浦安市建築指導課からの依頼について

5. 次回予定

4 月 18 日（水） 14:00～ 地盤工学会館 地下会議室

以上